

講義名称	保育内容 言葉	担当教員名	佃 益美
科目群	専門科目 (M) CA1・DI1・DI2		
科目区分等	保育の内容・方法に関する科目 選択必修	単 位	2
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	CMPM1122

授業のキーワード	言葉の領域での学びから、こどもが言葉を獲得し、豊かな人間性を広げていく大切さと楽しさに気づく。
授業の概要	乳幼児期の言葉の発達には日常の環境が大きく作用することを学び、保育者としてこどもに関わる時に必要とされる多様な児童文化財に触れ、その感性と技術を学ぶ。絵本の読み聞かせの体験を通してその楽しさに気づく
期待される学習成果 (目標)	言葉 は全ての領域に関わることとして考え、子どもが発達する過程で言葉の獲得と心の育ちが密接に関わっていることを知る。また、実践を通してより深く理解できるようになる。絵本の選び方、手遊びの意味を知る

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	ガイダンス	自己紹介、講義内容の説明
2	幼児教育の基本Ⅰ 改訂を受けて	・学童期への接続10の姿 (言葉による伝え合い)
3	幼児教育の基本Ⅱ	環境を通して行う教育 ・幼児の主体的活動を促す ・遊びを通しての総合的
4	領域 (言葉)	・教育要領の領域 (言葉) ・保育指針の領域 (言葉) ・他の領域との関係
5	乳幼児期の発達とことばⅠ	・からだで感じる世界 ・指差しと初語 ・一語文、二語文
6	乳幼児期の発達とことばⅡ	・質問期 ・外言、内言 ・書き言葉が広げる世界
7	乳幼児期の発達とことばⅢ	・ごっこ遊びとことば ・ことばを使って考える ・役割とことば
8	ことばの発達と大人の存在	・心の拠り所 ・特別な配慮が必要な子どもとの関わり
9	言葉に対する感覚を豊かにする	・わらべうた ・手遊び ・詩 ・ことば遊び
10	児童文化と内容Ⅰ	・絵本 ・紙芝居 ・素話
11	児童文化と内容Ⅱ	・ペープサート ・エプロンシアター ・指人形
12	文化財を通して 実践	・グループを作り、題材を決め役割分担 ・台本作り
13	文化財を通して 実践	・意見交換 ・協力して制作
14	文化財を通して 実践	・グループごとに発表する ・お互いを評価しあう ・自己評価、反省
15	伝承遊び	・年間行事 ・絵描きうた遊び

定期試験	筆記試験
授業時間外学習	第1～5回：改訂版教育・保育要領の基本を把握して下さい。 第6～10回：ことばの発達と育ちについて、保育者としての役割について学んで
評価方法	筆記試験70%、授業貢献度30%
使用する教科書 (必ず購入してください)	保育者をめざす人の保育内容 言葉 第2版 駒井美智子編
参考文献	随時紹介 (児童文化財、言葉遊び、伝承遊び、自然物などを使った遊びを取り入れ、実践の中から保育者自身の感性を磨いていく。) プリントを随時配布